

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和6年5月30日(木)
第7号

◆「産業現場等における実習」の面接終了◆

本校では、「産業現場等における実習」を教育活動の一環として位置付けており、実習先の作業職種を「進路だより」5号でお伝えしたように、9つに分けています。3年の前期までの4回の「産業現場等における実習」で、生徒自身が卒業後どんな職種の仕事がしたいのかということをおこの実習で体験し、卒業後の進路先を決める上で、「自己選択・自己決定」ができる資料となりますので、「産業現場等における実習」は、とても大切な意味を持っています。

校外で「産業現場等における実習」を行う生徒は、実習先との面接で、実習の目標、通勤方法、作業内容など多くのことを実習先の方々と確認しました。緊張気味の生徒もいましたが、自己紹介ができ、実習先の職員の話真剣に聞くことができたりしました。校外での「産業現場等における実習」に参加する生徒の保護者の皆様には、ご多用中にもかかわらず、面接に参加し、ご協力いただきありがとうございました。

◆「実習ノート」への記入のお願い◆

「実習ノート」には、実習中の目標や作業内容、実習期間中の一日の成果や課題、実習報告会へ向けて資料となるものなど、この実習で学ぶ大切なことが、たくさん詰まっています。また、「実習ノート」には、『保護者より』の欄もあり、「家庭と学校」「家庭と実習先」を繋げる連絡帳の役割もあります。実習中に、ご家庭でお子様と話した内容や健康状態など、どんなことでもいいですので、一言書き添えいただきますよう、お願いいたします。



「実習先の信頼を得る」という意味でも、とても大切なものとなっています。

◆共育(共に育てる)◆

「産業現場等における実習」や「卒業後の進路」という言葉をよく耳にされるとと思いますが、「産業現場等における実習」や「卒業後の進路」を考えるのは、3年生からではありません。北九州中央高等学園入学時から、生徒自身の気持ちを大切にしながら、保護者と学校が一緒になって、生徒たちが大人になるために、社会に出るために、「生きていくためにどんな力が必要なのか」「将来どんな生き方をして欲しいのか」など、卒業後の将来像について共通理解を図り、生徒たちを育てていきたいと思っています。進路支援部も生徒たちの『生きる力の育成』、卒業後の『生き方』について、より良い方向に進むことができるように、担任の先生方や生徒、保護者の方々と一緒に考え、共に育てていきたいです。



◆実習報告会のお知らせ◆

実習報告会は、1年生6月26日(水)、2、3年生6月24日(月)で実施予定です。実習報告会では、実習の目標に対しての成果と課題を生徒一人一人が発表します。特に校外で実習を行った2、3年生の報告は、どんな仕事内容があるのかがより詳しくわかると思います。どの学年にとっても、今後の進路決定する上で、参考になります。是非ご参加下さい。